



特集 鹿角の夏を彩る

「子どもたちも全員が毛馬内盆踊りで踊り手をやっています。」
 「子どもたちは、楽しいと感じるよりは、やらなきゃいけないものと感じていると思う。小さい頃は、自分もそのくらいしか思っただけだった。」
 「でも今では、自分が踊れなくなるまで踊りきりたい。変な使命感ではあるかもしれないが、そう思うようになった。」
 卓也さんは、当たり前に参加する中で、毛馬内盆踊りの魅力を知っていききました。

子どもたちにも、自分と同じように参加していくことで、徐々に毛馬内盆踊りの魅力を感じていってほしい。
 踊りを受け継いだ親が願う子への想いが込められていました。



と語ります。
 大湯大太鼓が好きかと尋ねると、即座に「大好き！」と答えてくれました。

子どもたちの祭りを支える

「自分が好きな大湯大太鼓を、幸い誰も欠けることなく息子と娘が楽しんで参加している姿を見ると、嬉しさが込み上げてくる。きちんと、この子どもたちが参加できる場所を整えていきたい。」
 寿幸さんは、現在、参加団体の会計を担当しており、大湯大太鼓の運営に尽力しています。

子どもたちが大湯大太鼓を続けていけるように、場所づくりをしているという感じだ。

自ら大鼓の指導をすることはないと話す寿幸さんは、子どもたちの大好きな大湯大太鼓を陰から支えています。



秋田県縄形民俗文化財 大湯大太鼓

大湯大太鼓保存会
 ☎ 37・2165

【日にち】 8月15日
 【場所】 道の駅おおゆ

戦国時代末期、迫りくる外敵から鹿角の地を守り、大湯に凱旋した兵士たちの労を唄や踊り、笛、太鼓でねぎらったことが起源といわれています。
 ずらりと居並ぶ大太鼓を華麗なバチさばきで力強く打ち鳴らす奏者たちの姿は見応えがあります。

平塚 寿幸さん



幼い頃から大湯大太鼓に参加していましたが、中学生の頃からは参加せずに観客として大湯大太鼓を見ていました。寿幸さんは、中学3年生の寧々さんと中学2年生の寿一さん、中学1年生の瑠偉さん、小学5年生の明日美さん、小学3年生の智尋さんの5人の子どもをお持ちですが、自身が35歳の時に、「大湯大太鼓やってみよう」と子どもにも誘われ、再び参加を決意しました。

太鼓を楽しむ子どもたち

大湯大太鼓は、高校生から20代の若手が子どもたちの指導をしております。毎年8月に入ると練習を行っています。太鼓練習について子どもたちは、「みんな教えてながらやっていて楽しい。」と口を揃えて言うほど楽しみの一つとなっています。寿一さんは「太鼓を叩いてると手の皮がむける。でも、全然痛くないし、むしろ、皮がむけた手を見ると太鼓を叩いている感じがして好きだ。」

鹿角市Instagram投稿キャンペーン

～鹿角の魅力の世界へ届けよう！～
 鹿角の日常や全世界に発信したいとびきりの瞬間など、鹿角にまつわる写真を指定の#(ハッシュタグ)を付けて投稿する、「鹿角市Instagram投稿キャンペーン」を開催中です。
 投稿いただいた方の中から抽選で市内宿泊券や特産品などをプレゼントします。皆さん奮って投稿してください。

◆キャンペーン期間 7月23日～10月14日

◆投稿方法

- ① Instagram アプリをインストールし、鹿角市公式アカウント (@kazunocity_official) をフォロー
- ② 鹿角にまつわる写真を撮影
- ③ ハッシュタグ「#鹿角いいね」を入力して写真を投稿

※投稿写真は「楽天トラベル特集ページ(旅頃)」にも掲載されます。詳細は「旅頃 鹿角」で検索または、こちらからご確認ください。⇒



☎ 産業活力課 観光交流班 ☎ 30-0248
 socio-kazuno-instagram@mail.rakuten.com (投稿について)

特集 鹿角の夏を彩る